

第26回散策路の会活動報告

■日時：2010年1月31日（日）9：00～11：30 天候：晴れ

■参加者：家原義靖、岩崎三郎、大屋進、荻野哲也、奥田せい子、鈴木孝紀、瀬尾友紀、瀬尾祥子、福島和良、山田正夫＝計10名。

■作業内容：浄化池から御所川沿いの道の整備。

今日は冬晴れの好天に恵まれた。朝9時には寒さで ^{おじが} 痺んで動きが鈍かった指先も時間がたつにつれ徐々に血の巡りもよくなり手足が活発に動き始めた。陽射しを浴び始めると厚着していた上着を一枚一枚脱ぎだし、一気に作業は加速する。中には額にじんわりと汗までにじませてる人もいた。

前回の浄化池から始まった湿地と道の境に堰をつくる作業である。今日はその作業の延長で、手馴れたゆえか作業の効率はよく、瞬く間にカエル池の傍まで土嚢の堰は延びていった。ここは半夏生の群生する場所。湿地を守ることと泥んこ道の整備の両面が要求されている。

◆ 浄化池の泥んこ道に仮の板を渡す

市の浄化池の工事が1月15日から始まり、30日に終わったが、その跡の水はけがよくないので泥んこになっている。とりあえず、板を並べて応急措置をして歩けるようにした。(写真📷)



◆ 湿地と道の境に土嚢を積んで堰に



土嚢づくり

* 前回の堰を延長一計180個の土嚢



前回75個の土嚢を並べて作った堰をさらに延長する作業である。土嚢袋をつくり、並べ、その隙間を土で覆い、堰にする。前回の土嚢75個に加え今回105個を並べ、180個が並んだ。(写真📷)。



* カエル池への道に延ばす

カエル池まで堰を延ばす。杭を打ち、ロープを張って土嚢を直線に並べた。(写真📷)

◆ 広町は雪化粧

2月2日朝、前夜の雪に覆われた現場を写してきた。堰きとめられた水は氷を張って土嚢は雪化粧をしていた。(写真📷)



★次回作業内容★2010年2月14日(日)9：00～12：00

小竹が谷の橋修理と 御所川沿いの道整備の続き

